

グローバル 世界はひとつ 見て触れて

国際理解教育



10年後の 目指す姿

互いの文化や考えを
理解した子どもたちが
交流しています。

- 国際理解を深め、国際感覚を身につけた子どもたちが、さまざまな国の人たちと交流し、自分たちの意見や考えを発信しています。
- 外国につながる子どもたちが夢をもち、桑名のまちでいきいきと生活しています。

施策の現状は？

- 学校では、国籍や生活習慣、文化の違いを互いに認め合い、ともに生きていこうとする態度を育むために、体験や出会い学習を進めています。
- 学校ではALT※1やJTE※2を活用して、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみながら、コミュニケーション能力の基礎を育む学習を進めています。
- 外国につながる子どもたちが、日本での学校生活にスムーズに適応できるよう、初期適応指導や日本語指導の充実にも努めています。

課題は？

- 国際化が進むにともない、国際社会のなかで日本人としての自覚をもち、自分の意思をもって生きていく上で必要な資質や能力を子どもの頃から育てることが必要です。
- 積極的に外国語を使ってコミュニケーションがとれる人材を育てるため、子どもの頃から外国語教育を充実させることが必要です。
- 外国につながる子どもたちがともに支え合い、自分の能力が発揮できるよう教育を整えることが必要です。

グローバルとは… 地球規模で、人、モノ、情報、資本などが国や地域の枠を越えて自由に移動する社会の様子のことです。

※1 小中学校において、英語の授業や英語活動の補助、英語指導教材の作成などをおこなう外国人の語学指導員助手のことです。

※2 小学校において、英語活動の補助、英語指導教材の作成などをおこなう日本人の小学校英語活動支援員のことです。

目指す姿を実現するために必要なのは？

国際理解教育の推進

- 桑名市の自然や産業、歴史や文化に関わる学習や体験を深め、郷土に愛着や誇りをもち、発信していく態度を育てます。
- 異なる文化・習慣を理解する学習や交流、体験活動などの国際交流を進め、相互理解と友好の機会を充実させます。

英語教育の推進

- 外国の人や英語にふれる機会を充実させます。また、小中学校が連携して、子どもたちのコミュニケーション力を豊かなものにします。

外国人児童・生徒の学校生活支援の充実

- 外国につながる子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう、初期適応指導や日本語指導などの支援を充実させます。また、日本語指導と教科指導を結びつけたわかりやすい授業づくりを進めます。



市が 取り組みます！

学校教育や社会教育の場での国際理解教育や異文化理解のための学習機会の確保に努めます。

外国につながる子どもとともに学ぶ機会を充実させます。また、お互いの国の文化を尊重する取り組みを進めていきます。

市民が 行動します！

子どもたちに地域での国際交流の機会や場を提供しましょう。

外国につながる子どもたちの学びや生活をサポートしましょう。

まちづくりの指標	指標の説明	平成25年度現状	方向性
小学校英語活動における児童の意欲向上	世界とのコミュニケーション力を高めるため、英語教育の推進をおこないます。そのため、「日ごろから生活の中で、英語を使おうとしている」と回答する児童の割合を高めていきます。	49.5%	↑